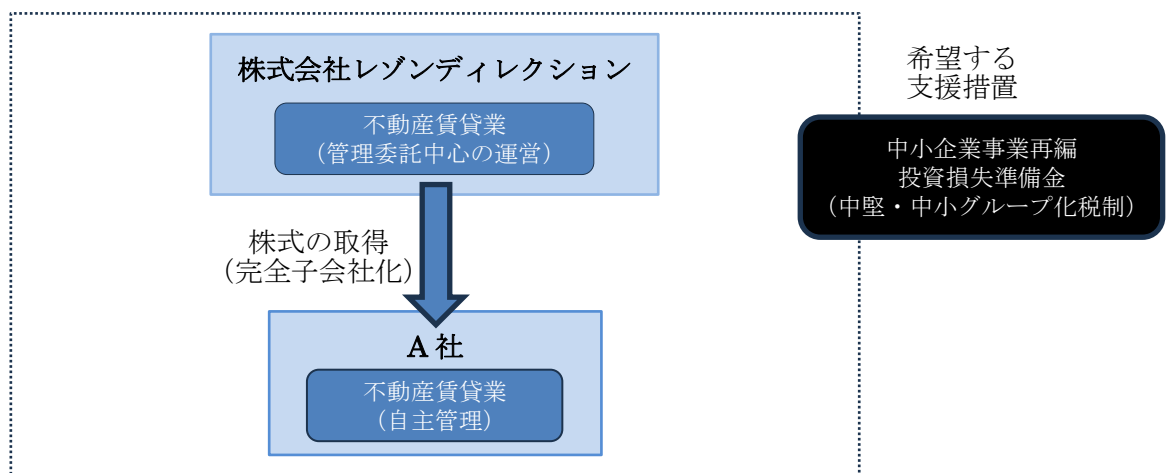


株式会社レゾンディレクションの「特別事業再編計画」のポイント

株式会社レゾンディレクションは A 社の全株式を取得することで、中核事業である不動産賃貸業について、従来の管理委託中心の運営から、A 社の自主管理ノウハウを取り込んだ内製・標準化型の運営体制へ移行する。

これにより、居者対応の迅速化、空室期間の短縮、計画修繕の徹底を通じて、稼働率・賃料水準・資産価値を持続的に高めることを、グループ共通の価値観として定着させ、不動産賃貸業の価値最大化と生産性の向上、収益力の強化を図る。



【生産性の向上】

- ・従業員 1 人当たり付加価値額を計画終了年度までに 1 4. 3 % 向上させる。
- ・売上高を 1. 3 5 倍とする。

【財務の健全性】

- ・有利子負債/キャッシュフロー 2. 5 倍
- ・経常収支比率 2 6 6. 9 %

【賃上げ】

- ・雇用者給与等支給額を計画終了年度までに年率 2. 5 % 向上させる。

【新販売方式の導入】

- ・「自主管理型の賃貸管理サービス」導入により、入居者対応の迅速化、空室期間の短縮、計画修繕の実行力向上を図り、増加した賃料収入等（空室損失の減少、更新率向上、賃料条件の適正化等の増収分）の売上高を計画終了時点で全売上高の 1.5% 以上とする。

【計画の実施期間】

- ・令和 8 年 1 月～令和 1 0 年 7 月